

倉敷市倉敷川畔伝統的建造物群保存地区



指定区分	国重要伝統的建造物群保存地区
読みかた	くらしきくらしきがわはんでんとうてきけん ぞうぶつぐんほぞんちく
所在地	倉敷市中央・阿知・本町・東町
指定年月日	昭和54年5月21日
解説	倉敷川を中心とし、鶴形山の南麓の町屋筋を含む地域。一帯は物資輸送の拠点として栄えた商業の町で、江戸時代には天領として代官所が置かれた。建造物群の主屋は本瓦葺、塗屋造、白壁、土蔵は本瓦葺、なまこ瓦張りの外観を特徴とし、倉敷窓、倉敷格子などの民家の意匠とともに倉敷の町屋を特徴づけている。このような伝統的建造物と、大原美術館、倉敷館(旧町役場)などの洋風建築が一体となって調和し、優れた歴史的景観を形成している。
アクセス方法	JR倉敷駅から徒歩10～15分程度
公開状況	自由
設備	駐車場は周辺に有料駐車場があります。倉敷館観光案内所(国登録有形文化財)にトイレがあります。
備考	倉敷美観地区として知られ、岡山県の観光名所の一つとなっています。